誰もが安心して暮らせる町づくりをめざして

名北福祉会 広報誌

2023 9 Sep No.61

みんなの夢

2023 年 9 月 1 日発行（年 3 回）　発行所／社会福祉法人 名北福祉会　発行人／黒川　富子
〒 462-0804 名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:http://meihoku-fukushi.org/

その人らしく過ごせる生活を大切に

デイサービス へいわ

デイサービス 町南

めいほくの家

グループホーム めいほく

めいほく 町南の家

高齢部

今年の取り組み

高齢部に初めての入居施設が開所しました。デイサービスと小規模多機能で住みなれた自宅での生活を継続できるように支えていきます。そして、自宅での生活が難しくなっても、グループホームめいほくで住みなれた地域の中で安心して生活できるように支え続けていきます。その人の生活歴、習慣を大切にし、持っている力を発揮し、事業所の中で役割をもって生活をしてもらえる様に支えていきます。

めいほくの家

保育園の子どもたちと交流

利用者が日中の通いだけでなく、ヘルパーやお泊りにも対応し、24時間365日利用者に寄り添う小規模多機能事業所です。

利用者さんと喫茶ぼちぼちにコーヒーを飲みに行き、ゆっくりと過ごすひと時や天気の良い日に、1Fテラスに出て体操をしています。隣の保育園の七夕会へのお誘いや太鼓の演奏会のお誘いがあり楽しみました。また、保育園の子どもたちが遊びに来て、利用者さんとおやつを食べながら過ごす場を持ちました。

8月には夏祭りをしました。施設内を利用者さんと一緒にお神輿を担いで練り歩いたり、はっぴや浴衣を着て、太鼓を叩いたり、ミニゲームをしたりして、お祭りを楽しみました。今後、地域の方たちともお祭りなどのイベントや交流の場を作って、地域との関りも大切にしていけたら良いなと思っています。

グループホームめいほく

高齢部初の入所施設

2023年4月高齢部に待望の入所施設が開設され、半年が経とうとしています。新規事業という事もあり、介護方針を話し合ったり、必要な書類をそろえたり、様々な事を職員と決めていきました。7月には3ユニット目をオープンする事ができ、バタバタとした日々を送っていますが、利用者さんの力を借りながら日々の生活を送っています。

グループホームめいほくは利用者さんのこれまでの生活歴、習慣を大切に、一人一人の尊厳を大切にした介護を目指しています。大まかな1日の流れはありますが、その日の予定は特に決まっていません。「今日は何をしましょうか?」という声かけから1日が始まり、食べたい時に食べ、寝たい時には寝る。食器を洗って洗濯物を干し、天気の悪い日にはテレビを観て、晴れた日には散歩に出かける。そんな当たり前のお家での

生活です。

日々の生活の中での楽しみも大切にしています。茶食ぼちぼちの歌の会や認知症カフェに参加したり、お酒が提供される「夜のぼちぼち」では、利用者さんの知人が訪ねてきて一緒に晩酌を楽しまれています。また、面会に来られたご家族とぼちぼちを利用される事もあります。また、「めいほく保育園」との交流も始まり、7月には保育園で開催した七夕の会に参加させてもらいました。子どもたちと交流している利用者さんの笑顔はなんとも言えません。

デイサービスへいわ

レクレーション楽しんでいます

合併で4月から名北福祉会の高齢部の一事業所となり、地域密着型のデイサービスとして毎日が始まりました。

コロナも落ち着き、春先には近くのフラリエに散歩に出かけたり、レクレーションの一つとしての尺八の会、習字、紙芝居、新聞ちぎり絵など不定期に訪問してくださるボランティアの皆さんの力もお借りしながら、季節感を大切にして楽しく過ごしています。

朝から帰るまで、ワイワイ・ガヤガヤとにぎやかなへいわです。

めいほく町南の家

7月で開所8年目を迎えました。最近は、若い方も増え、男女の比率も半々となり賑やかになりました。母の日にカーネーションを作り、父の日には、町南オリジナルの、無事に帰るという願いを込めたキーホルダーを作りました。コロナが少し緩和してからは、水の資料館や、昭和博物館へ出かけ、懐かしい思い出話に盛り上がりました。

デイサービス町南

4月から、10名定員になり、こじんまりしたデイサービスになりました。その分、メダカとカブトムシが仲間入りして、ちょっとにぎやかになりました。午後は、近くの「木が崎公園」お出かけが定番に。紫陽花、ゆりを見てベンチでゆっくりしたり、時にはボール投げをして、少しお茶を飲みながら「昔、桜の時期に息子と来てね・・・」等の世間話をしたりと散歩先のおしゃべりも楽しいものです。

障がい部

今年の取り組み

障がい部方針 第5次中長期計画も2年目を迎えました。日中事業所の機能分化に向けて、事業の準備をさらに進めていきます。また保育園など就学前、放課後等デイサービス、成人期施設までの、ライフサイクルを通じた支援実現に向けて、準備し、取り組んでまいります。人材確保、人材育成に取り組み地域のニーズに応えられる体制強化をしていきます。

めいほく鳩岡の家

軽作業の仕事もコロナの影響で内容が一変して、毛染め製品のセットや味噌汁製品の箱詰めなどが主になりました。それまでの工業部品よりCMでも見た商品ということで、おしゃれ好きな仲間がグループに加わったりと新しい発見がありました。「作業によってやる気が変わるのは当然だよね。」と言いながら、ガチャガチャのカプセルに景品を入れる仲間の姿を見ながら、不定期でもわくわくする仕事を用意したいと話し合っています。

めいほく共同作業所

今年度から「農業」にチャレンジしています。西味鋺の農家さんに土地をお借りし、6月に苗植え、そして、水やり・草抜きと10月頃の収穫に向けて、仲間たちは活動しています。めいほく鳩岡の家・めいほく共同作業所の仲間が中心となり、暑い日でも、畑に出向いています。草は抜いても、抜いても、生えてきますが、利用者さんたちは汗をかきながら、頑張っています。美味しい、イモができますように！

わくわく安井の家

きたっこいちば

2カ月に1回ですが安井の家のシフォンケーキを楽しみに待っているお客様もいて仲間たちはシフォンケーキつくりに励んでします。また日中機能分化にて他の事業所の仲間とも今後一緒に活動をやっていくことに楽しみを膨らませています。

仲間ともに販売をし、地域の方たちとの触れ合いを大切していきたいです。

めいほく友の家

友の家が〝大切にしてきた目指すもの〟の一つに、「ひとりひとりの仲間が主人公であり、自己実現していく場であること」があります。

季節の行事などを通しての仲間と職員、参加してくれるみんなが楽しめる雰囲気づくりを大切にしていきます。

これからも障害があるから出来ないではなく、たくさんの活動を行いたくさんの経験をして仲間の

好きを増やしていく、また深めていきたいと考えています。

のびのびクラブ

のびのびクラブでは、メイクやファッションに興味が出てきたり、「この服が着てみたい！」の気持ちが強くなってきているお子さんが増えています。少しだけ特別な服を着て、いつもとはちょっと違う自分になってみる取り組みを考えています。男の子はネクタイや腕時計、女の子はメイクやドレスなど…。小学生、中学生ならではの大人への憧れを実際に体験できる時間を過ごすことで、もっと自分を好きになることができたらと思います。

友の家ホーム

この春から新しく「にほ」という住居が増えたことに伴い、ホーム生活をスタートさせたなかまも9人増えました。すでに「いっぽ」の時から10年余りにわたってホーム生活を作り上げてきた5人のなかまたちにとっても、これから生活を共にしていくなかまが新たに加わることは新鮮さと少しの緊張感と、ホーム生活では先輩となることの嬉しさなど、様々な思いが胸にあふれているようです。家が恋しくて泣けてしまうなかまを見れば、どうしたらいいのかなと何となく一緒に落ち込んでみたり、「遊ぼうよ～」と寄ってくるなかまには「しょうがないなぁ」という様子を見せるものの、なんだか楽しそうにお付き合い。

休日の昼食、一方のホームではケンタッキーをみんなで注文して「チキン祭り」、もう一方のホームではピザを注文しての「ピザパーティー」など、少しずつみんなでホーム生活の楽しみを共有できるようになってきました。過ごしやすい季節になったら、友の家ホームだけでなく「あさひ」や「ゆうやけ」のなかまたちも一緒にバーベキューなどを楽しみたいと思います。

町北ホーム

ホームの仲間の余暇外出も、感染防止をしつつ自由が広がり、ヘルパーさんと公共交通機関を利用して出かけたり、ホーム職員と一緒に外食を楽しんだり、少しずつコロナ前の楽しみ方が戻ってきています。

めいほくホーム

月～金まで作業所で働き、みんな楽しみにしている余暇（土日）。ヘルパーさんと相談し、おいしい食べ物屋さん巡り、買い物、ウィンドウショッピング、個性を発揮できる、1年間にしていきたいです！

保育部

今年の取り組み

引き続き「子どもたちにもう1人保育士を!」の配置基準の改善の運動に参加して取り組みます。子どもが主体の保育、子どもの権利を大事にした保育を、子どもの姿から学び実践していきます。異年齢保育を積み上げていきます。

めいほく保育園

きゅうりの収穫クッキング

園庭で育てたきゅうりが大きくなり、子どもから「(給食で食べた)うめきゅうりがつくりたい」という声が上がりました。きゅうりの梅おかか和えに混ぜるめんつゆも作り、昆布・鰹節から取っただしのお味見も楽しみながらクッキングをしていきます。自分たちで作ったきゅうりの梅おかか和えを食べて「おいしい!」と何度もおかわりしています。子どもの発信で楽しめたクッキングを今後もできたらと思います。

なえしろ保育園

おかえり一年生

夏休みに入ったばかりの子どもたちを招待しました。

久しぶりの保育園。「宿題終わった?」「1年○組なんだ」と懐かしい友だちや保育士と楽しそうにおしゃべりが始まりました。

「園庭いきたい!」と園庭へ一直線に向かい「鬼ごっこしよう」「虫さがそう」友だちの手を引いて「こっちでもあそぼう」と遊び慣れた園庭で楽しかった思い出を振り返るようにと時間を忘れて遊びました。卒園しても子どもたちにとって安心できる居場所や、信頼できる人が近くにいることを感じるとても素敵な時間になったと思います。

やだ保育園

親子で夏まつり再開しました!

夕方再登園をして親子で楽しんでいた夏まつりでしたが、コロナ禍の間は日中子どもたちだけで行っていました。

今年は、保護者アンケートをとり職員でも相談して親子で楽しむ形を復活させました。前半・後半で参加者が入れ替わり2回行いました。

年長さんの開幕太鼓でスタート。お面や水風船や魚つり、的あてなど夜店を親子で回りました。新たに「食材あてクイズ」の食育コーナーも登場。箱の中の食材を触ってあてるのを楽しんでいました。おまつりの最後はみんなで盆踊り。1年生のOBも参加して、小さな子どもたちから小学生までノリノリの盆踊りでした。

めだか保育園

なつまつりのスイカ割り

風船釣りやくじびき、輪投げ、屋台風給食で楽しんだなつまつり。大トリは4～5歳児の『スイカ割り』。スイカの行く末を見守りながら応援合戦です。「ーくん！がんばれ～！マエ、マエ…ソレーッ」「あっ、汁が飛んだ！」「スイカのにおいがする～」「次はRくんだ。めっちゃ力持ちだから割れるんじゃない？」熱が入ります。「ミギ…ちょっとヒダリ…ストップ～！」「せ～の！」「エイッ！よっしゃ～！」ブシャッと音をたて、赤い実が空中に飛ぶと大歓声があがりました。興奮冷めやらぬ中、美味しくいただきました。

めいほくつぼみ保育室

水遊び楽しいよ

夏の暑い日には玄関先で水遊びを楽しみました。はじめは真水を使わず、ぬるめの水をタライに溜めて、コップで汲んでみたり、スポンジに水を吸わせて絞ってみたり、床の上に水が溜まるとバシャバシャと水しぶきをあげて、水の感触を楽しんでいる子どもたちです。コロナ明けの今年度は少人数に分けることなく、10人そろっての水遊びに楽しさが増しました。

くさのみ保育所

紫キャベツでクッキング

1・2歳児混合のひまわりのお部屋では紫キャベツをちぎるクッキングをしました。どの子も真剣な表情です。台所に持っていくとそのキャベツのしぼり汁を使って栄養士さんがきれいなあじさい寒天を作ってくれました。おやつにおいしくいただきました。余った青っぽいしぼり汁の中にお酢を入れるとあら不思議。ピンク色に変身！「わあー！」と驚く子ども達でした。お庭ではそのお汁でジュースやスープを作ってままごとも楽しめました。

第二めいほく保育園

暗くてドキドキ、七夕会

七夕には星がたくさん出てくるブラックパネルシアターを見ました。子どもたちは目を丸くして、ライトで光るシアターに「さかな！」「ウーカンカン！（消防自動車）」と登場する物を指さして保育士や友だちに伝えたり、「お星さまになった！」と変化を楽しんでいました。

来年は、おじいちゃん・おばあちゃんを七夕会に招待し、世代間交流を楽しみたいと思います。

地域生活部

今年の取り組み

地域生活部では在宅を支えるために、障がい、介護の相談、ヘルパーの活動を進めていきます。重点課題である「ヘルパー人材を増やす事」を引き続き進め、手立てとして全職員家族に向けて紹介料、就職祝い金の周知、無資格者の養成研修に取り組んでいきます。

ヘルパーステーションそら

ケアプラン町南

登録ヘルパー募集中！

性別・年齢不問！短時間からでも大丈夫！
資格所得支援制度あり！
助けの必要な方の支援に入りませんか？
サービス地域：北区、守山区
お問合せ：ヘルパーステーションそら
052-910-0712

担当：岩橋・坂野

地域にむけたとりくみ

認知症カフェ

ぼちぼちカフェ再開しました

7月、北区東部いきいき支援センターの方のハンドベルのイベントを行いました。

めいほくの家やグループホームめいほくの皆さんも参加されました。

みなさんのやりたい事、話したい事から、参加者の声で運営しています。介護保険や健康のことなど相談下さい。

開催日　毎月第3火曜日
時　間　14時から15時
場　所　みなみ町福祉センター
茶食ぼちぼち
参加費　100円

めいほくわいわい食堂

開店！　やっと会えたね

わいわい子ども食堂プロジェクト（北医療生活協同組合・名北福祉会・暮らしと法律を結ぶホウネット）では、コロナ禍の3年余は、食料配布を行ってきました。みなみ町福祉センターが完成し、「めいほくわいわい食堂」として3か所目をスタートしました。6月「子どもたちがきてくれるかな」というスタッフの心配をよそに一〇〇名を超える子ども・保護者・高齢の方の参加がありました。カレーライス、サラダ、デザートは、すいかと丸小青果さんからの沢山の野菜の寄付があっておいしい食事ができました。みんなの楽しみな場所にしていきたいです。

2023年度　法人事業・会計報告

2022年度事業報告

特徴的な点は

①コロナ禍3年目でのとりくみ

●リモート会議、研修も定着してきましたが、対面での会議の大切さを感じ、対面会議を増やしてきました

②みなみ町福祉センター（高齢者グループホームめいほく、小規模多機能めいほくの家、茶食ぼちぼち、交流スペース、法人本部）を建設・2023年4月事業開始しました。

③友の家ホーム「にほ」の建設をすすめてきました。2023年4月に開所しました。

④人材確保・人材育成・地域貢献・広報部の専門部でとりくんできました。

⑤法人財政健全化計画の実行

●事業計画は前進しました。しかし収支差額は厳しい結果でした。

⑥働きやすい職場づくり

●ハラスメント学習等を行い職場モラル向上にとりくみました。

●最低賃金改定や遇改善加算による賃金改善にとりくみました。

⑦法人応援団を増やすとりくみ

●法人だよりの発行、ホームページ充実、支える会会員呼びかけを行いました。

⑧地域貢献の取り組み

●やだカフェ、ぼちぼち（認知症カフェ）を再開しました。わいわい子ども食堂では、フードステーション、弁当配食に取り組みました。

⑨平和・社会保障拡充のとりくみ

●核兵器廃絶や憲法改悪を許さない全国署名や学習会、平和を考えるとりくみをおこないました。

●保育部では「もう一人保育士を！」の保育士の配置基準改善、障がい部では「優生保護法被害者の尊厳回復の運動」、高齢部では「介護保険制度の抜本的転換を求める運動」に取り組みました。

⑩社会福祉法人なごや平和福祉会との法人合併をしました。

●2022年3月「なごや平和福祉会」（中区平和）より法人の吸収合併の申し入れがありました。高齢事業を行っている法人です。継承者や経営困難が主な理由です。思いを受け継ぎ要請に応えていくことを決め準備してきました。

2023年度法人事業計画

〈重点課題〉

＊新規事業の運営を安定させていきます。

●高齢者「グループホームめいほく」小規模多機能「めいほくの家」「茶食ぼちぼち」、「友の家ホームにほ」、「デイサービスへいわ」が安定した運営ができるようにします。

●「地域交流センターふらっとるーむ」の活用をすすめます。

●デイ東町閉所後の施設活用で、「東町交流センター」として不登校の居場所づくりとして関係者と連携しすすめていきます。

＊名北福祉会60周年記念冊子とDVDを作成します。

名北福祉会の歴史は、1963年10月名北共同保育所開所、1974年2月4日名北保育所として認可保育所となりました。共同保育所誕生から2023年10月、60周年を迎えます。

記念誌とDVDを作成し、法人の歴史をまとめていきます。

＊法人財政健全化をめざします。

＊各施設の実践を充実させていきます。

2022年度決算について

法人全体の資産は、建設により40・38億円、純資産は23・08億円でした。建設積立金の取り崩したことや赤字、収益減で回復できず厳しい状況です。

赤字解消、運営資金確保、積立金増など経営改善にむけ努力していきます。

2023年度 役員体制

評議員 定数9名 任期4年

冨田 哲朗
田中 耕治
篠宮 雄二
横井 透
伊左治 真
佐尾 和彦
近藤 守平
本田 直子（新）
柘植さとみ（新）

監事 2名 任期2年

塚本 正（新）
牧野 茂子

評議員選任・解任委員 5名 任期4年

木村 恵美
加藤 登美
塚本 正
牧野 茂子
市川 敦子（新）

理事 8名 任期2年

黒川 富子
本田たみ代
佐藤 悦弘
伊佐治尚美
太田 輝美
光岡ゆかり
寺西 明美
岩橋 和裕

運営協議会委員 30名 任期2年

評議員9名
理事8名
監事2名含

正次 正男
水野 孝安
菊田 道敏
中尾 安男
長尾 忠昭
小林 正巳
久田 浩一
若山 悦子
水野 達彦
真坂 一彦
加藤 尚子

退任

評議委員 廣瀬 洋子
監事 山田美重子
運営協議会委員 仙田田鶴子
高山 健司
評議員選任・解任委員 橋本 琴江

永年、監事としてご尽力いただいた監事の山田美重子さんが2023年3月ご逝去されました。心より感謝申し上げるとともにご冥福をお祈りいたします。

社会福祉法人　名北福祉会　　決算書

事業活動収支計算書　～利益報告書～
（自）令和4年4月1日　　（至）令和5年3月31日

（単位：千円）

	本部会計	保育園	障害	高齢	地域生活	合計
【収入の部】						
就労支援事業収益	0	0	12,126	0	0	12,126
運営費・支援費・補助金収益	7,531	940,575	650,096	191,813	193,756	1,983,771
利用料収益	0	0	0	0	0	0
寄附金収益	13,588	105	10,216	0	10	23,920
雑収益・受取利息他	378	8,794	10,134	3,542	132	22,980
事業収益合計	*21,498*	*949,474*	*682,573*	*195,354*	*193,898*	2,042,797
固定資産受贈額	0	0	0	0	0	0
借入金補助金収益（元金・利息）	0	12,232	11,564	0	0	23,796
施設間繰入金収益	50,214	1,537	105,413	163,104	128	320,395
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0
その他の特別収益	0	0	0	0	0	0
収益合計	71,712	963,243	799,550	358,458	194,025	2,386,988
【支出の部】						
就労支援事業費用	0	0	13,728	0	0	13,728
人件費支出	5,419	803,405	556,088	160,380	86,796	1,612,088
事務費支出	12,672	46,084	54,229	36,714	11,835	161,534
事業費支出	1,507	67,220	60,481	14,653	2,739	146,601
減価償却費	235	46,498	39,405	9,714	1,118	96,970
徴収不能額	0	0	0	24	0	24
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	−27,656	−20,273	−2,927	−147	−51,004
支払利息	0	2,275	2,080	0	0	4,355
その他費用	0	536	5,289	495	0	6,321
事業支出合計	*19,833*	*938,361*	*711,028*	*219,053*	*102,342*	*1,990,617*
基本金組入額	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0	11,526	11,127	33,600	0	56,254
施設間繰入金支出	134,497	29,801	57,146	1,707	97,245	320,395
固定資産売却・処分損	0	0	60	11	0	70
その他の特別損失	0	0	0	0	0	0
支出合計	154,329	979,689	779,361	254,371	199,587	2,367,336
当期活動収支差額	−82,618	−16,446	20,189	104,087	−5,561	19,652
【繰越活動収支差額の部】						
前期繰越活動収支差額	203,419	233,416	310,312	63,540	11,691	822,378
積立金取崩額	404,054	0	0	0	0	404,054
積立金積立額	6	0	0	0	0	6
次期繰越活動収支差額	524,850	216,971	330,501	167,627	6,130	1,246,079

貸借対照表

令和5年3月31日現在

（単位　円）

現金預金	170,615,106	未払金	31,245,915
未収金	251,767,135	その他の流動負債	801,782,322
たな卸資産	1,732,231		
その他の流動資産	686,189,119		
流動資産合計	1,110,303,591	流動負債合計	833,028,237
基本財産土地	513,432,722	長期借入金	795,995,000
建物	1,894,141,081	退職給与引当金	100,332,398
法人内長期貸付金	0	法人内長期借入金	0
その他の固定資産	377,348,473	固定負債合計	896,327,398
積立預金	42,492,697	負債合計	1,729,355,635
退職給付引当資産	100,332,398		
		基本金	242,741,038
固定資産合計	2,927,747,371	国庫補助金等特別積立金	777,382,749
		その他の積立金	42,492,697
		次期繰越活動収支差額	1,246,078,843
		資本合計	2,308,695,327
資産合計	4,038,050,962	負債・資本合計	4,038,050,962

勤続20年表彰

町北ホーム
佐藤　準子

振り返るとあっという間の20年でしたが、落ち込んだり挫けそうになった事も何度もあります。いつも周りの方々にたくさん支えていただき今があります。ありがとうございます。また、元気な時もしんどい時も、法人が大事にしているものを、自分も人として大事だなと思えることが拠り所となって、働き続けてこられたなとあらためて感じます。これからもよろしくお願いいたします。

勤続表彰

多くの職員のみなさんに永年、名北福祉会を支えていただき心より感謝いたします。

正規職員

20年

町北ホーム　佐藤　準子

10年

わくわく安井の家　菅原　健
めいほく保育園　平石　章乃
めいほく保育園　住安　杏菜
めいほく保育園　竹下　千尋
第二めいほく保育園　安西　彩弥
めだか保育園　伊藤　早苗
なえしろ保育園　熊本　幸江

契約職員

10年

わくわく安井の家　篠原　健司

短時間職員

20年

ヘルパーステーションそら　吉川　知子
めいほく共同作業所　水内　基仁

10年

めいほく鳩岡の家　青井　満美
めいほく鳩岡の家　犬飼　正明
めいほく鳩岡の家　後藤　幸憲
めいほく保育園　成田季見子
めいほく保育園　山田みずほ
めいほく保育園　北野　晴美
第二めいほく保育園　溝口真由美
なえしろ保育園　大林美貴子
なえしろ保育園　宮地　章子
なえしろ保育園　近藤　綾野
なえしろ保育園　山岡久美子

未経験者歓迎

介護スタッフ募集中！

場所
北区上飯田南町

2023年4月オープンした新規事業所で一緒に働きませんか？

事業内容
・グループホームめいほく（認知症対応型）
・めいほくの家（小規模多機能事業所）
名北福祉会高齢部　052-508-7150　担当：光岡

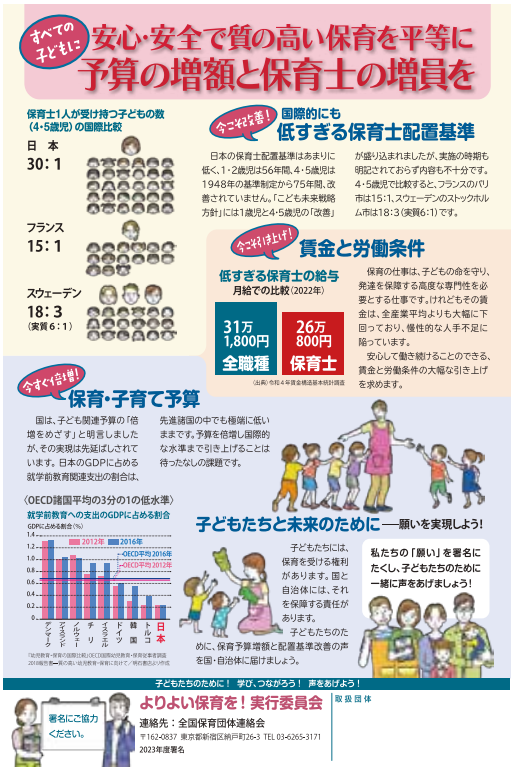
お気軽にお問合せ下さい！

すべての子どもに安心・安全で質の高い保育を平等に！予算の増額と保育士の増員を！

2023 年度国会請願署名運動をスタートしました。

政府は、国が直面する最大の危機である少子化を反転させるとして「こども未来戦略方針」を閣議決定しました。「75 年ぶりの配置基準改善」として、私たちが長年求め続けてきたことが盛り込まれましたが実施の時期は明記されていません。「子ども予算倍増」が 2030 年代初頭までに先延ばしされています。国際的にも低い水準のまま放置され、職員の負担の増大、人手不足をまねき、現場を疲弊させています。いま、乳幼児期からの安心できる子育てのためには社会資源としての保育・学童保育の維持・拡充がどうしても必要です。署名のご協力をよろしくお願いいたします。

＊署名は同封の返信封筒にて返送をお願いいたします。



カフェ茶食 ぼちぼち

地域の中で“みんなが集う場所”として茶食ぼちぼちをよろしくお願いします。みなさんのお越しをお待ちしています。

〈営業日・時間〉

月曜日～金曜日⇨ 7：30 ～ 16：30　　モーニング（7：30 ～ 11：00）

土曜日・祝日⇨ 8：30 ～ 15：30　　モーニング（8：30 ～ 11：00）

ランチ月曜日から土曜日・祝日⇨（11：30 ～ 14：00）

＊金曜日夜の居酒屋ぼちぼち、麻雀や歌声喫茶、認知症カフェなどもやっています。

場所：みなみ町福祉センター 1 階　　電話：052-911-5188

名北福祉会では各事業所で正規職員を募集しています ぜひご応募ください

◆募集業種

保育士・生活支援員等・介護支援専門員（ケアマネージャー）

◇応募から採用まで

①書類選考　②実習・実地体験　③レポート提出　④面接

◇お申込み・お問い合わせ

社会福祉法人名北福祉会　人事担当　TEL052-910-3066

名北福祉会を支える会の会員募集　夢のある豊かなまちを共につくりましょう !!

「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめ、福祉の充実をめざします」に賛同する人たちの力で、法人が進めている事業や「みんなの夢」をかなえるための施設づくりを応援しています。支える会への加入をよろしくお願いいたします。

会員には、正会員と賛助会員、団体会員があります。

会　費	正 会 員	1 ヶ月	1 口	500 円（5 口以上）
	賛助会員	1 ヶ年	1 口	1000 円
	団体会員	1 ヶ年	1 口	5000 円

〈振込先〉

郵便振替口座

加入者名　社会福祉法人名北福祉会を支える会

口座番号　00860-8-127322